

中学地理	世界から見た日本のすがた③	年 組 番	1問 5点
資源・農林水産業		名前	/100

①	ペルシャ湾を中心とする西アジアが最大の産出地である鉱物資源	せきゆ 石油
②	アメリカで採取可能になった、頁岩(けつがん)とよばれる堆積岩の層から採取される天然ガス	シェールガス
③	化石燃料の使用によって出る二酸化炭素などの温室効果ガスが原因で、地球の平均気温が上昇すること	ちきゅうおんだんか 地球温暖化
④	つきることのない太陽光や風力などを利用してつくられるエネルギー	さいせいかのう 再生可能エネルギー
⑤	現代の世代の幸福と、将来の世代の幸福が両立できる社会	じぞくかのう しゃかい 持続可能な社会
⑥	ダムなどにためた水を利用する発電方法	すいりよくはつでん 水力発電
⑦	①、石炭、天然ガスなどを燃料とする発電方法	かりよくはつでん 火力発電
⑧	ウランを燃料とする発電方法	げんしりよくはつでん 原子力発電
⑨	使い終わったものを、再び資源に戻して使用すること	リサイクル
⑩	大消費地である都市の近くでおこなう農業	きんこうのうぎょう 近郊農業
⑪	高知平野や宮崎平野などで、温暖な気候を利用し、収穫期を早める栽培方法	そくせいさいばい 促成栽培
⑫	長野県や群馬県などで、冷涼な気候を利用し、収穫期を遅くする栽培方法	よくせいさいばい 抑制栽培
⑬	温室やビニールハウスなどを用いて、野菜や果樹などを育てる農業	しせつえんげいのうぎょう 施設園芸農業
⑭	国民が消費する食料を、国内生産でまかなっている割合	しょくりょうじきゅうりつ 食料自給率
⑮	地元でつくった作物を地元で消費すること	ちさんちしょう 地産地消
⑯	輸入品にかかる関税や輸入量の制限をなくすなどして、市場を開放すること	ぼうえきじゆうか 貿易自由化
⑰	卵からふ化させた稚魚を、大きくなるまで水槽などで人工的に育てる漁業	ようしょくぎょぎょう 養殖漁業
⑱	卵からふ化させた稚魚を、自然の川や海に放流し、成長してから漁獲する漁業	さいばいぎょぎょう 栽培漁業
⑲	ぶどうやももの生産がさかんな盆地	こうふぼんち 甲府盆地
⑳	秋田県で生産が盛んな樹木	すぎ

中学地理	世界から見た日本のすがた③	年 組 番	1問 5点
資源・農林水産業		名前	/100

①	せきゆ 石油	( <b>ペルシャ</b> ) 湾を中心とする ( <b>西</b> ) アジアが最大の産出地である鉱物資源
②	シェールガス	( <b>アメリカ</b> ) で採取可能になった、頁岩(けつがん)とよばれる堆積岩の層から採取される ( <b>天然ガス</b> )
③	ちきゅうおんだんか 地球温暖化	( <b>化石燃料</b> ) の使用によって出る二酸化炭素などの ( <b>温室効果ガス</b> ) が原因で、地球の平均気温が上昇すること
④	さいせいかのう 再生可能エネルギー	つぎることのない ( <b>太陽光</b> ) や ( <b>風力</b> ) などを利用してつくられるエネルギー
⑤	じぞくかのう しゃかい 持続可能な社会	( <b>現代</b> ) の世代の幸福と、( <b>将来</b> ) の世代の幸福が両立できる社会
⑥	すいりよくはつでん 水力発電	( <b>ダム</b> ) などにためた水を利用する発電方法
⑦	かりよくはつでん 火力発電	石油、( <b>石炭</b> )、天然ガスなどを燃料とする発電方法
⑧	げんしりよくはつでん 原子力発電	( <b>ウラン</b> ) を燃料とする発電方法
⑨	リサイクル	使い終わったものを、再び ( <b>資源</b> ) に戻して使用すること
⑩	きんこうのうぎょう 近郊農業	( <b>大消費地</b> ) である ( <b>都市</b> ) の ( <b>近く</b> ) でおこなう農業
⑪	そくせいさいばい 促成栽培	高知平野や宮崎平野などで、( <b>温暖</b> ) な気候を利用し、収穫期を ( <b>早める</b> ) 栽培方法
⑫	よくせいさいばい 抑制栽培	長野県や群馬県などで、( <b>冷涼</b> ) な気候を利用し、収穫期を ( <b>遅くする</b> ) 栽培方法
⑬	しせつえんげいのうぎょう 施設園芸農業	( <b>温室</b> ) や ( <b>ビニールハウス</b> ) などを用いて、野菜や果樹などを育てる農業
⑭	しょくりようじきゅうりつ 食料自給率	国民が消費する ( <b>食料</b> ) を、( <b>国内生産</b> ) でまかなっている割合
⑮	ちさんちしょう 地産地消	( <b>地元</b> ) でつくった作物を ( <b>地元</b> ) で ( <b>消費</b> ) すること
⑯	ばうえきじゆうか 貿易自由化	輸入品にかかる ( <b>関税</b> ) や輸入量の制限をなくすなどして、市場を開放すること
⑰	ようしよくぎぎょう 養殖漁業	卵からふ化させた稚魚を、大きくなるまで水槽などで ( <b>人工</b> ) 的に ( <b>育てる</b> ) 漁業
⑱	さいばいぎぎょう 栽培漁業	卵からふ化させた稚魚を、自然の川や海に ( <b>放流</b> ) し、( <b>成長</b> ) してから漁獲する漁業
⑲	こうふぼんち 甲府盆地	( <b>ぶどう</b> ) や ( <b>もも</b> ) の生産がさかんな盆地
⑳	すぎ	( <b>秋田</b> ) 県で生産が盛んな樹木

中学地理	世界から見た日本のすがた③	年 組 番	1問 5点
資源・農林水産業		名前	/100

①	せきゆ 石油	ペルシャ湾を中心とする西アジアが 最大の産出地である鉱物資源
②	シェールガス	アメリカで採取可能になった、頁岩(けつがん)とよばれる 堆積岩の層から採取される天然ガス
③	ちきゅうおんだんか 地球温暖化	化石燃料の使用によって出る二酸化炭素などの 温室効果ガスが原因で、地球の平均気温が上昇すること
④	さいせいかのう 再生可能エネルギー	つぎることのない太陽光や風力などを利用して つくられるエネルギー
⑤	じぞくかのう しゃかい 持続可能な社会	現代の世代の幸福と、将来の世代の幸福が両立できる社会
⑥	すいりよくはつでん 水力発電	ダムなどにためた水を利用する発電方法
⑦	かりよくはつでん 火力発電	石油、石炭、天然ガスなどを燃料とする発電方法
⑧	げんしりよくはつでん 原子力発電	ウランを燃料とする発電方法
⑨	リサイクル	使い終わったものを、再び資源に戻して使用すること
⑩	きんこうのうぎよう 近郊農業	大消費地である都市の近くでおこなう農業
⑪	そくせいさいばい 促成栽培	高知平野や宮崎平野などで、温暖な気候を利用して、 収穫期を早める栽培方法
⑫	よくせいさいばい 抑制栽培	長野県や群馬県などで、冷涼な気候を利用して、 収穫期を遅くする栽培方法
⑬	しせつえんげいのうぎよう 施設園芸農業	温室やビニールハウスなどを用いて、野菜や果樹などを育てる農業
⑭	しょくりようじきゅうりつ 食料自給率	国民が消費する食料を、国内生産でまかなっている割合
⑮	ちさんちしょう 地産地消	地元でつくった作物を地元で消費すること
⑯	ばうえきじゆうか 貿易自由化	輸入品にかかる関税や輸入量の制限をなくすなどして、 市場を開放すること
⑰	ようしよくぎぎよう 養殖漁業	卵からふ化させた稚魚を、大きくなるまで 水槽などで人工的に育てる漁業
⑱	さいばいぎぎよう 栽培漁業	卵からふ化させた稚魚を、自然の川や海に放流し、 成長してから漁獲する漁業
⑲	こうふぼんち 甲府盆地	ぶどうやももの生産がさかんな盆地
⑳	すぎ	秋田県で生産が盛んな樹木